

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1部2年 2部3年	子どもの健康と安全	飯野 伸子	
サブタイトル	保育での実践的な知識と技術を学ぶ	単 位 数	1
授業形態	演習・講義	出席要件	4 / 5以上
開講時期	前期		
到 達 目 標			
1. 子どもを取り巻く環境について保健的支援と保育環境づくりについて理解できる。 2. 保育に必要な衛生管理や安全管理について実施体制や保健活動の計画評価を理解できる。 3. 子どもに対する危機管理、災害対策、事故防止について述べるができる。 4. 子どもの成長発達に応じた保健対策を理解することができる。 5. 子どもの事故や外傷、疾病における対応について理解することができる。 6. 子どもの感染および感染防止対策について述べるができる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
1. 保育者の使命として、子どもの心身の健康と安全を護り生命の尊厳を自覚することが出来る。 2. 専門職者として保育に必要な論理的思考、判断力、技術、表現力を身につける。 3. 他者と連携、協働の学習を通して、豊かな人間形成を身につける。 カリキュラムマップの位置づけ 2年次前期（(第1部)、3年次前期（第2部）			
授 業 の 方 法			
1. 講義は既習の乳幼児の成長・発達について、常に振り返りながら授業を行い配付資料で学習を深める。 2. 子どもの健康、事故、けがや病気への対応の知識について事例を通して学ぶ。 3. 緊急時の対応方法についてビデオ視聴を通して学ぶ。 4. 災害時や防犯について、演習をしながら学ぶ。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：野原 八千代『子どもの健康と安全』建帛社 2019年 参考図書：『幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領 保育所保育指針』 チャイルド本社 2017年 『保育園における感染症の手引き 2013』日本保育園保健協議会 2012年 『保育園保健の基礎知識 2013』巷野悟郎監修 2013年			
評 価 の 要 点		総合評価割合	
習得した知識と技術を確認するために、科目修了試験と演習への取組みで総合的に評価し、さらに授業貢献度、小テスト結果を加えて総合評価とする。		定期試験	80%
		小テスト	10%
		授業への貢献度	10%
履修上の注意事項や学習上の助言など			
医療現場で看護師、助産師として長年病院で従事してきた経験と、看護師養成所での看護師教育を活かして授業を展開し、子どもの健康を守り、健康を維持増進するために必要な知識と技術を学びます。			

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1回	・ガイダンス ・子どもの特性、子どもの病気の特徴	授業科目の理解 子どもの特徴を踏まえて 健康上の問題の明確化
2回	<演習>子どもの健康と保育環境の確認 <内容>子どもが生活する保育環境の確認	健康生活に必要な保育 環境について理解
3回	<講義>身体の清潔の意義と目的 <内容>清潔方法、皮膚の観察、紫外線対策	衛生管理の理解
4回	<講義>個別及び集団への健康観察と管理 <内容>保育における健康と安全観察の意義と情報収集方法の理解	安全と健康観察の意義と 方法の理解。
5回	<演習>生命の徴候と異常の有無、 <内容>バイタルサインチェック、薬の理解と管理	バイタルサインの重要性 と異常の判断の理解 薬の服用と管理の理解
6回	<講義>子どもの疾病に対する対応① <内容>腹痛、嘔吐、下痢、便秘	子どもに多く診られる症 状と対応の理解
7回	<講義>子どもの疾病に対する対応② <内容>発熱、けいれん、頭痛等の対応	子どもに多く診られる症 状と対応の理解
8回	<講義>感染症の予防と対策 <内容>集団生活における感染症の予防とその対策、予防接種の種 類と時期	感染の機序と予防対策に ついての理解 予防接種の必要性和実施 方法の理解
9回	<演習>事故防止と安全対策 <内容>発達段階に応じた事故の特徴と予防	子どもの発達段階に応じ た事故の特徴とその予防 策を理解
10回	<講義>子どもの事故とけが <内容>事故防止と安全管理、身近な事故	事故予防のための理解
11回	<講義>けがの対処法 <内容>切傷、火傷、打撲、鼻出血等	怪我についての対応の理 解
12回	<演習>救急処置、包帯法 <内容>応急処置、救急蘇生法、包帯法	緊急時の対応と処置につ いての理解
13回	<講義>危機管理と災害への備えと対策、防犯対策 <内容>災害における備えと対応。 防犯対策と防犯教育	集団生活における危機管 理の理解 災害対策・防犯対策の実 際の理解
14回	<講義>個別的な配慮を要する子どもへの対応 <内容>配慮を要する子どもへの対応 アレルギー、障害のある子どもへの対応	障害児や個別的配慮の必 要がある子どもへの対応 の理解
15回	授業の振り返り、まとめ 子どもの事故と病気の予防と健康管理についての確認	子どもの健康保持増進を 図る保育者の自覚を養う
試験	定期試験	